

# 授業改善書

|     |      |
|-----|------|
| 科目名 | 英語 I |
| 担当者 | 青木雅幸 |

## 授業の概要

国際化する日本の教育現場において、子どもの発達段階に応じた様々なテーマを踏まえた英語会話表現を学び、必要とされる英語語彙を身につけ、自分のパートを覚えクラスでスキット再現する。なお且つ、基本文法項目を復習しつつ、子ども向けのストーリーを読み、英語による「読み聞かせ」にも挑戦する。各課のまとめとして学習した内容について自分なりの英文パラグラフを作成する。これらのサイクルを習得することにより実践的な教育現場に必要な身の回り物事を英語で表現できるように指導する。また、各 Unit の応用として幼保英検の対策指導と小模擬試験を実施する。

## 授業の問題点

昨年に続きコロナ禍により A/B グループ編成の隔週対面授業及び遠隔課題学修となっており、第 1 学年にとっては経験をしたことのない学生生活であった。特に、語学の授業としては異常事態（飛沫感染を防ぐために大きな声で発音ができない等々）を感じつつ春期が終了した。対面授業と遠隔課題との組み合わせは、対面授業で学習した内容を家庭学習として復習する形式を採り、対面授業での内容を MicrosoftTeams にアップすると同時にプリントでも配布するようにし、万一コロナによる発熱により対面授業に参加できない場合でも、Teams を開いて家庭学習ができるように工夫をしているが、学生にとっては慣れない作業であり、システムの活用に無駄な時間を過ごしてしまう者が散見された。また、対面授業の週に家庭学習内容の解説を含むためにどうしても授業のスケジュール管理が難しくなっている。

## 学生の授業満足度

アンケートの結果全般で判断するに、授業にはそれなりに満足している学生が多いと思われる。英語が苦手な学生の割合が高く、またコロナ禍で慣れない授業形態ではあるが、学生の自助努力は敬服に値する。「授業方法について」並びに「授業の満足度」については、高評価であると分析しているが、「授業外学習」及び「予習」についての項目については、クラスによっては学生の自己評価は高いとは言えない。また「質問や発言をしましたか」についての数値が他の質問より低いことは、学生の授業科目に対する無関心度を示すこととも理解できる。

## 授業改善の課題と方策

コロナ禍で授業のスケジュール管理が難しい状況にはあるが、授業の進度が遅れることは、英語が苦手な学生の多い子ども発達学科のクラスにおいては授業内容に対する理解が深まる前向きな要因ともなり得る。しかし、一部の英語が得意な学生にとっては不満の種ともなり得ることとなり、「授業外学習」及び「予習」がおろそかになる要因でもある。この点については、学力差に対応した授業展開がより求められる。また、「質問や発言をしましたか」についての数値が他の質問より低いことは、授業に対する積極性が低いとも理解できるので、学生を巻き込む授業計画に一層力を注ぐ必要がある。

## その他

授業では幼保英検の模擬問題の指導を行っているが、子ども発達学科の学生諸君には、英語が苦手であっても、せめて幼保英検 3 級ないし 4 級を取得して欲しいと願っている。英語学習の動機付けにも直結すると確信する。

# 授業改善書

|     |          |
|-----|----------|
| 科目名 | 英語（読む英語） |
| 担当者 | 青木雅幸     |

## 授業の概要

グローバル化時代において、実質的に世界共通言語と言える英語の必要性が更に高まっていることは言うまでもない。海外旅行などで求められる英語はもちろん、国内においても様々な業種で英語ができる人材が求められている。2020年度より小学校の「英語」が教科化されたこともこの社会的要望に応えたものである。このような背景を基に、「英語（読む英語）」では英語の基礎文法と語彙を確認しつつ、身近な物事に関する英文記事の講読法を指導する。

## 授業の問題点

授業科目「英語（読む英語）」にもあるようにこの授業は講読力の強化が第一の目的である。できれば学生の専門分野に関する教材を提供したいところではあるが、①複数学科の学生が履修している、②学力差が大きい、などの理由で基礎的で一般的な講読内容の教材『Have a Nice Day! -Talking about Daily Activities（大学生のための英語基礎演習）』にて授業を展開した。このことに関して学生諸君は理解していたが、②の学力差については十分に対応することが出来ず、小数名にとっては難しい授業となった。

## 学生の授業満足度

アンケートの結果全般で判断するに、授業には満足している学生が多いと思われる。アンケート調査の①「この授業に対するあなたの学習態度を評価して下さい」の項目では、2. 授業外学習（予習や復習など）をしましたか、3. 質問や発言をしましたか、など授業への積極性がやや低い数値であった。アンケート調査の②「この授業について評価して下さい」の項目においては、Ⅰ授業内容について、Ⅱ授業方法について、Ⅲ授業満足度について、は概ね満足度数値は高いと判断される。

## 授業改善の課題と方策

上記したように、2. 授業外学習（予習や復習など）をしましたか（3.92）、3. 質問や発言をしましたか（4.08）、など授業への積極性がやや低い数値であった。学力差に対応しつつ、学生には予習復習を促す手段として自宅学習課題を与え、また学生を巻き込み学習内容に関する発表の機会を与え、議論ができるよう授業の方法を再検討することが必要であると考え。もちろん、このコロナ禍においては、「発表」と「議論」の際には飛沫対策を徹底するため、学生の一層の協力が必要となる。

## その他

身近な物事に関する英文記事の講読法を指導するための教科書として『Have a Nice Day! -Talking about Daily Activities（大学生のための英語基礎演習）』を使用し、身の回りの物事に関する基本語彙を身に付け、基本英文法を再確認した。授業科目は「英語（読む英語）」ではあり、あくまでも講読力を身に付けることが主眼ではあるが、講読内容のテーマに関するネイティブスピーカーの英会話を聞き取り、正しい発音を学ぶことも実施した。